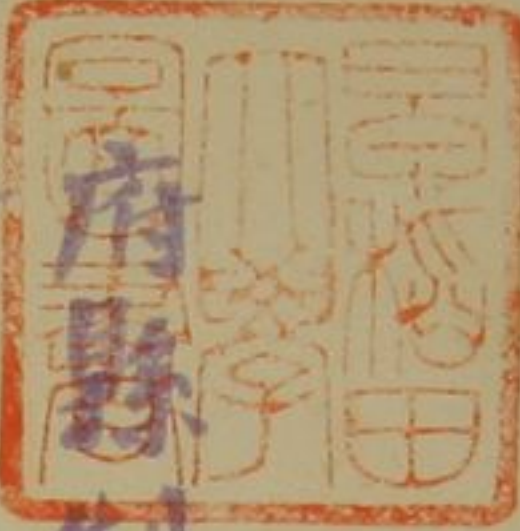


14
A 652

秘



府縣制ハ府縣政務ノ全體ヲ包括スルモノニアラサ
 ルナリ 府縣制ハ府縣ノ公共事務ニ関スル事項
 ヲ規定スルモノニシテ其官政即チ國ノ行政ニ関ス
 ル事項ハ依然舊ノ如ク府縣知事ハ政府ノ機関ト
 シテ政令ヲ奉行スルモノナリ而シテ府縣廳ノ官
 吏モ其專ラ府縣ノ公共事務ニ関カル職務ニ係ル
 モノヲ以テ府縣吏員ト為スニ止マリ其他ハ總テ現今
 ノ制度ヲ存セントス 府縣制ヲ論スルニハ先ツ此分界
 ヲ識別セサル可カラス 今ヤ議者ノ論スル所ヲ見ルニ
 此点ヲ輕々看過スルニ似タリ
 府縣制第二條ハ府縣ノ一方ニ於テハ行政區畫トナ
 リ一方ニ於テハ其公共事務處辦ノ一團體ト為ルコト

大正十一年四月贈

1920



ヲ規定シタルモノニテ其實現今ニ於テモ事實上ニ於
テハ已ニ其事アリ新制ハ明ニ其團體ノ資格ヲ與
ヘ之ニ屬スル事務ノ處辦法ヲ定メ其公共事務ノ樊
圍内ニ於テ從來ノ缺典ヲ補ヒ地方自治ノ精神ヲ擴
充シタル者ナリ故ニ官政ノ部ニ在テハ偶々法律命令
ヲ以テ特ニ之ヲ府縣ノ參事會ニ委任スルモノ、外ハ
一切府縣知事ニ於テ從前ノ如ク之ヲ執行スルモノトス
其レ已ニ此ノ如シ議者ガ府縣ノ行政區畫タルハ名義
ニ止マリ府縣ノ最上權ハ府縣會之ヲ掌握シ地方
ノ過半ハ中央命令ノ及ハサル所トナル云々ト論スルハ
甚ク其當ヲ得サルノ觀察ト云ハサル可カラサルナリ
議者ガ米國又ハ英國ニ於ケル學者ノ說ナリトシテ自
治ヲ以テ共和ノ異名トシ百年ノ後歷史上ニ於テ我

祖宗ノ國體ヲ破リシモノハ府縣自治ノ制ナリ
トノ評論ヲ下ス者アラシコトヲ恐ルト論セル如
キハ學理上ヨリ之ヲ云フモ其甚ク失當ノ議
論タルコトヲ見ル然レトモ學理上ノ非難ハ姑ク之
ヲ別論ニ讓リ(別稿アリ)茲ニ先ツ議者ガ府縣
制ノ骨子ナリトシテ摘出シタル十項ニ就キ之
ヲ論センニ此十項ハ其事決シテ議者ガ陳スル如キ
議論ノ根據トスルニ足ラサルナリ議者ニシテ其根據
トスル所ハ唯此十項ニ止マラシメハ其論ハ誠ニ過慮
ニ屬スト云ハサルヲ得ス
(第一) 議者ハ府縣會ハ其府縣ヲ代表ストノ法文
ニ非常ノ重ヲ置キ府縣會ヲ以テ府縣ノ最
上權ヲ有スルモノトシ府縣知事ハ降テ單ニ其

執行者タルニ過キスト論セリ府縣會ハ其府縣ノ公共事業ニ関シ議決権ヲ有スルハ議者ノ言ノ如シ然レトモ此法文豈議者ノ論ノ如ク怪ムニ足ルモノアラシヤ其レ府縣ハ地方經濟樊圃内ニ於テ自ラ其府縣ノ公共事業ヲ有セルモノナリ而シテ此樊圃内ノ事業ヲ議シ隨テ其府縣ヲシテ之ヨリ生スル所ノ權利ヲ有シ義務ヲ負ハシハルハ府縣會ナリ果シテ然レハ府縣會ハ其府縣ヲ代表スルモノニアラスシテ何ソヤ此事ヤ必スシモ新制ニ依テ創起スルモノニアラス其實現狀ニ因テ之ヲ云フモ單ニ法律ノ明文ナキノニ實際ニ於テハ自ラ然ルナリ故ニ府縣ヲ代表ストノ法文ハ素ヨリ驚クニ足ラサルナリ且夫レ府縣會ハ府縣ヲ代

表スト虽モ是專ラ其公共事務上ニ付テ云フノニ其行政區畫タル点ヨリ云フトキハ府縣知事ハ中央政府ノ機關ニシテ官政ノ執行ニ関スル府縣知事ノ職務權限ハ毫モ後來ト異ナルコトナシ加之府縣會議決ノ權限内ニ在ル事項ト虽モ府縣知事ノ權限ハ極メテ多ク決シテ單ニ其執行者タリト云フト得サルナリ府縣制第七十八條第八十八條第八十九條ノ如キ其最モ觀易キモノナリ何トナレハ第七十八條ニ據レハ府縣ニ於テ法律命令又ハ後來ノ慣例ニ依リ負擔スル支出ノ多寡ニ付キ府縣會ト意見ヲ異ニスルトキハ府縣知事ハ内務大臣ノ指揮ヲ請フコトヲ得第八十八條ニ據レハ

府縣會又ハ府縣參事會ノ議決其權限ヲ越
エ法律命令ニ背キ又ハ公益ヲ害スト認ムルト
キハ府縣知事ハ其議決ノ執行ヲ停止スルコト
ヲ得第八十九條ニ據レハ府縣會ニ於テ法律命
令若クハ從來ノ慣例ニ依テ負擔シ又ハ當該官
廳ノ職權ニ依テ定ムル所ノ支出ヲ豫算ニ載セス
又ハ臨時ニ承認セサルトキハ其支出額ヲ豫算表
ニ加ヘ又ハ臨時ノ支出額ヲ定ムルコトヲ得凡ソ此
等ハ非常ノ權力ニシテ監督ノ效力ハ殆ト現行
ノ不認可法ヨリ強カラレトス其レ然リ故ニ知事
ヲ以テ單ニ府縣會議決ノ執行者タラシメトスト
云フハ其當ヲ得サルノ論ト云ハサル可カラス

(第二) 議者ハ府縣會ハ府縣條例ヲ制定スル法文ニ

関シ之ヲ一般ノ法律ト密着近似ノ性
質ヲ有セリト為シ府縣立法ノ權ハ全ク
絶對的ニ府縣會ニ屬シ府縣知事ハ其
議長タルノ外行政官ノ位置ニ於テハ更ニ
之ニ干預スルノ權アルコトナシト為シ若シ一
轉シテ國ニ適用セシメハ米國又ハ瑞西國
タラントスト為シ甚シキハ勅裁ヲ受クルハ形跡上
ノ制限ニ過キスト為セリ然レトモ府縣條
例ノ物タル決シテ驚クニ足ルモノニアラス
府縣條例トハ府縣が其公共事務ニ関シ
法律ノ樊圍内ニ於テ其府縣内ノ規定ヲ
設クルニ過キサルナリ決シテ一般ノ法律ト
密着近似スルモノヲ設ケ得ルノ精神ニア

ラハルナリ府縣ニ於テ規定ヲ設クルコトハ
現今ト雖モ已ニ其事ナキニアラス何トナ
レハ今日ニ於テモ地方稅徵收ニ附屬セル
諸規定ハ府縣會ノ議決ヲ以テ之ヲ設ク
ルモノ多シ又府縣知事ハ此等ノ諸規定ニ
関シ違警罪ノ制裁ヲ付シ其地方ノ罰
則トセルモノアリ議者ガ府縣條例ニ関シ抱
ク所ノ憂慮ハ殆ト其物ヲ見スシテ其影
ヲ恐ル、ノ嫌ナキ能ハス況ンヤ府縣知事ハ
行政官ノ位置ニ於テハ更ニ之ニ干預スル
ノ權アルコトナシト為スハ絶エテ新制ニ於
ケル府縣知事ガ官政ノ機關タル權力ノ
如何ナルモノナル乎ヲ見サルノ論ナルニ於

テオヤ加之勅裁ヲ受クルヲ以テ形跡上
ノ制限ニ過キストスルハ特ニ其見ノ當ラ
サルヲ見ル何トナレハ陛下ノ其勅裁ヲ與
ヘラル、ヤ固ヨリ其事ヲ鄭重ニシ十分
ニ當該ノ諸官ヲシテ之ガ調査ヲ精密
ニセシメラル可ク決シテ府縣ヲシテ一般
ノ法律ト相凌轢スルカ如キ條例ヲ制
定セシメサルヤ明ナレハナリ府縣條例ノ物
タル其レ此ノ如シ議者ガ之ヲ以テ一轉シテ
國ニ適用セハ米國又ハ瑞西國タラントマデ
極論スルハ絶テ其理由ヲ見サルナリ
(第三)議者ハ府縣知事ヲ以テ府縣會ノ議長
タラシムル法文ヲ難シ府縣知事ヲシテ

府縣會ノ機關タラシメノ奴隸タラシメノ行政ノ権カヲシテ麻痺セシメ府縣知事ノ過半ヲシテ議會ノ愚弄物タラシメテ止マンノミト論セリ是亦過慮ノ甚シキモノニシテ府縣制草定ノ主旨ト全ク相背馳セルモノト云ハサル可カラズ府縣制草定ノ主旨ハ知事ヲ以テ議長ト為スハ議會ノ事務ヲシテ一層圓滑ナラシメ議員中相軋轢シ及ヒ議會ノ府縣廳ト相對峙敵視スルノ傾勢ヲ防キ一旦必要アレハ知事ヲシテ其監督ノ権力ヲ實際ニ施行スルノ神速ト便宜トヲ得セシメトスルニ在リ是後來ノ經驗ニ依リ深ク見

ル所アリテ然ルナリ知事ニシテ果シテ此任ヲ盡スコト能ハサラン乎知事ノ其人ヲ得サルヲ歎ス可キモ法律ノ精神ヲ答ム可カラズ

況ンヤ議

長代理者ハ府縣會ノ選舉スル所ナレハ議長ノ職ハ始終知事一人ノミ孤立シテ擔任スルニアラサルニ於テオヤ

(第四) 議者ハ府縣會ニ於テ府縣吏員ヲ設ケ及收入役ヲ遂任スルヲ難シ(議者ノ第四第十ノ二項) 是米國ノ上院ト同ク行政上ノ最

上権ヲ握ルモノニシテ獨リ立法権ニ止マラ
スト論セリ然レトモ府縣吏員トハ府縣廳
官政ノ官吏ヲ謂フニアラス單ニ其府縣稅
經濟ノ樊圍内ニ於テ其公共事務ニ服從
スル吏員ヲ謂フニ府縣收入役亦府縣吏
員ノ一ニシテ府縣稅ノ出納ニ任スルモノヲ謂
フ其レ府縣ヲシテ自ラ其公共事務ヲ處理
セシムル上ハ其府縣稅經濟ノ樊圍内ニ於テ
公共事務ニ服從スル吏員ノ選任法ハ其府
縣ヲ代表スル議會ヲシテ之ヲ定メシムル
ハ素ヨリ当然ナリ府縣ヲシテ自ラ其經濟
ヲ為サシメナカテ吏員ハ則チ他人ニ於テ自
由ニ其選任ノ法ヲ定メントスルハ其理由ヲ

見サレナリ況ニヤ現今ト虽モ府縣廳ニハ
地方稅ヲ以テ傭員ヲ置クコトアリ其之ヲ
置クハ總テ府縣會ノ議決ニ根柢セサル
ハナシ唯新制ハ其樊圍ヲ廣ムルニ過キス
素ヨリ驚クニ足ラサルナリ殊ニ收入役ヲ
要スル所以ハ現行ノ制度ニテハ地方稅出
納ノ方法明晰ナラス實際ニ於テ屢々其
弊害ヲ感スルノミナラス府縣ニシテ已ニ
自ラ其經濟ヲ有スレハ則チ隨テ其出
納ニ任スルモノアル可キハ理ノ當ニ然ルヘキ
モノナリ加之議者ハ收入役ヲ以テ府縣
大蔵官ト為シ大蔵大臣カ國ノ理財財政
上ニ於テ有スル如キ権力ヲ府縣ノ理財

財政上ニ有スル如クニ考定スト虽モ是大
ニ誤レリ收入役ノ職務ハ會計ノ帳簿
ヲ司リ出納ヲ嚴ニシ府縣ノ金庫ヲ守
ルニ在ルノミ決シテ其他ノ権力ヲ有セザ
ルナリ且夫レ府縣吏員ハ府縣參事
會之ヲ選任シ收入役ハ參事會ノ推薦
ニ依リ府縣會之ヲ選任スルモ參事會
ハ知事ノ統理スル所ナレハ知事ノ勢
力ハ大ニ其選任ノ事ニ及フ可ク而シテ收
入役ノ選任ハ内務大臣ノ認可ヲ要スルカ
故ニ選任ヨリ生スル弊ヲ防クノ具ハ自
ラ府縣制中ニ備ハレルヲ知ラサル可カ
ラサルナリ

(第五)議者ハ又府縣參事會ガ府縣會ノ議決ヲ執行
スルノ任ニ居リ府縣參事會ガ府縣吏員ニ對シテ懲
戒處分ヲ行フニ難ヲ難シ(議者ノ第五第六二項)
府縣知事ヲシテ立法上行政上共ニ他人ノ餘誣ヲ檢フニ
過ザラシムト論シ又府縣知事ハ參事會員ノ一人ニシテ
其議長トナリ參事會ノ議決ヲ執行シ參事會ヲ
代表シ參事會ノ組織ハ府縣會ヨリ選舉スル名譽
職員其二三ノニヲ占ムルノ三点ヲ難シ(議者ノ第七第
八第九三項)府縣知事ハ多數ノ名譽職員ニ壓セラ
レ行政上ニ於テモ勢力ノ過半ハ府縣會ノ手中ニ落ソト
論セリ是亦好ニテ事ヲ夸大ニ論スルモノト謂ハルヲ得サル
ナリ其ハ府縣公共事務ノ執行ハ專ラ政府ノ機関タル
官吏ノミラシテ之ニ任セシメス宜シク參事會ヲ但職シ之

フシテ府縣會議決ノ執行ニ任セシムル(キナ)現今ノ地方制
度ニテモ既ニ常置委員アリテ已ニ微ニ其體ヲ具ヘタル
モノト云フベシ而シテ今ノ常置委員ハ法律上ニテハ知事事務
ヲ行フニ當リ之ニ諮問スルモ可ナリ諮問セザルモ可ナリ又其
議決ハ之ヲ採用スルモ可ナリ採用セザルモ可ナリ甚ク事體
ヲ得ザルノ制ナリトス今之ヲ法案ノ如ク更スルハ公共事務
ノ分思フテ始終貫通セシメ事體其宜ヲ得セシムルモノ
ト云ハザル可ラス又參事會ヲ組織スル以上ハ合議體ノ
制ヲ用ザルヲ得ザルハ多言ヲ要セズ而シテ法案ニ據ルハ
其組織ハ單ニ府縣會議選舉ノ名譽職負ノミニ限ラス
知事并ニ高等官ニ名即テ會負ニ分テ之ニ加フルモノ
トス是レ其注意ノ周密ヲ見ルベキナリ其レ此三分一官吏
ハ其勢力智力以テ充分ニ事ノ利害得失ヲ會場ニ辨

明ニ會議ヲシテ輕躁浮薄ニ流レシメザルニ足ルモノト云
ハザルベカラズ加之參事會ノ職務中其常務ニ係ルモノ
ハ知事ニ於テ之ヲ專決處分スルノ制ナリトシナラス(府縣
制第四十八條第四項)豫算表調製ノ際知事ト參
事會ト意見ヲ異ニスルトキハ知事ハ別ニ其意見書ヲ府
縣會議ニ出スノ規定アリ(第七十六條第二項)又前ニモ
記セシ如ク知事ハ參事會ノ議決執行ヲ停止スルノ權
アリ(第八十八條)知事ヲ以テ單ニ他人ノ餘唾ヲ拾フモノ
ト為スガ如キハ其當ヲ得ザルノ觀察ト云ハザル可カラズ且ツ
夫レ參事會ヲ組織スル以上ハ政府ノ機關タル官吏ヲ
シテ其過半ニ充タシムル如キハ決シテ事理上為シ得ベキ
コトニアラス又議者ガ知事ヲシテ參事會ノ議長タラシ
ムルヲ行政麻痺ノ一因トスルハ全ク法案草定ノ主旨ト凡

馬牛相及スルノ意見ト云ハガレ可ラズ

以上述フルカ如ク議者が挙クル所ノ十項ハ皆法案草定
ノ主旨ト相背馳スルカ故ニ議者が是レヨリ生スベキ結果ノ三點
ナリトシテ激論スル所ハ一モ其根據ヲ見ザルナリ

議者ハ又此法案ハ要スルニ府縣ノ権カヲ舉ケテ總テ之ヲ府
縣會ニ委任シ政府及政府ノ代人ハ單ニ其監督ヲ為スニ止マル
モノナリト論セリ然レニ府縣ノ権カハ決シテ舉テ之ヲ府縣會ニ
委任スルモノニアラザルコト上ニ説ク所ノ如クナルノミナラス此法案
中ニ存スル所ノ政府及政府ノ代人ノ監督權ハ甚ク嚴密周
到ヲ盡シ正當ナル行政ノ権カハ後末ニ比ヒ増スアルモ減スルコト
ナキコトハ議者が宜ク注意ス可キ所ナリ議者ハ又純然タル自
治ハ之ヲ町村ニ施スベク之ヲ郡市ニ施スベキモ決シテ之ヲ府縣
施スベカラズト論セリ其レ郡府縣ニ至テハ市町村ト同一視ス可カラ

サルモノアルコトハ今回法案ニ於テ十分注意ヲ加ヘテ故ニ府
縣制ハ勿論郡制トモ市町村トモ大ニ其趣ヲ異ニシ市
町村ハ一切ノ機關總テ自治ノ精神ヨリ成立シ市町村吏員
ヲ此テ一切ノ事務ニ任セシメ其主トスル所ハ公共ノ事務ニ在リトモ
凡亦一面ニ於テハ官政即チ國ノ政務ヲ奉行スルモノトセリ而
シテ郡制府縣制ニ於テハ官政ニ面ハ全ク之ヲ該制ノ規
定外ニ置ケリ是レ議者が最モ注目セザル可ラザル所ナリ加
之郡制ニ大ニ地方ノ財產家ニ從來モキ所ノ権カヲ附與シ
自ラ郡會議員トナリ若クハ特別ニ之ヲ選舉スルノ法トモ
リ而シテ府縣會議員モ亦從來直選ノ法ヲ改メ郡市會
及郡市參事會ノ會同ヲ以テ選舉スルモノト為セリ是亦
法案大ニ注意ヲ加ハルモノニシテ議者ハ能ク之ヲ記憶セザル
可カラザルナリ

之ヲ要スルニ府縣制ハ府縣公共事務ニ付テ法律ヲ樊圍
田及政府ノ監督ノ下ニ於テ自ラ之ヲ處理セシメントスルニ在
リ其ノ所謂自治モ一國ノ自治ト地方ノ自治トハ天淵ニ差
ルナリ地方ノ自治ノ如キハ君主政體ノ國ニ於テモ且其
必要アル之ヲ歐洲各國ノ歴史并現狀ニ照シ學者者定
論ニ於テモ昭々ナリ況ニ中央ニ國會ヲ設
クルニ至テ地方ニ自治制ヲ布カザルハ却テ國內ニ躁急道
變ヲ生シ易ク政體ノ基礎ヲシテ鞏固ナラシムルコトヲ
得ズ是ヲ以テ最モ君主政體ヲ重スル普國ノ如キ猶且ツ
最モ地方自治制ヲ尊ビ其自治ノ樊圍ハ我府縣制法
案ノ規定スル所ニ比スルニ却テ其廣キヲ見ル普國ノ州ハ
縣ヨリ大ナル區畫ニシテ概シニ乃至五六縣ヨリ成ス而
シテ州會ノ議長ハ該會ニ於テ公選ニ州常置委員及

其議長モ亦公選トス且州會ノ權限モ我府縣制ニ於ケル
府縣會ノ權限ニ比スルニ一層大ナルカ上ニ其議決ヲ執行ス
ルニハ別段ノ執行事務廳アリ其長官ハ州會ニ於テ選任
シ數多ク高等吏員及庶務吏員之ニ附屬シ事務ヲ
數箇課ニ分テテ處弁ス州長ハ唯政府ノ理事官トシテ州
會ヲ開閉シ及州常置委員會ニ臨席スルニ過キス而シテ
州長ノ下ニ二三高等官ト姓名ノ屬官アルニ議者ヨリ之ヲ
見ルトキハ蓋シ大ニ共和政ノ形美ヲ存シ其國體ヲ破壞スルノ
患ハ一層切迫ナリト謂ハカル可ラス然ルニ普國ニ於テハ中央
政令ノ一般ニ普及セサル患ナク又統一ノ政尾大掉ラレサルノ
病アルヲ聞カス且同國ニ於テ之ヲ施行スルコト日既ニ久シト雖モ
地方自治ノ系統ヲ引テ之ヲ中央政府ニ及ホシ國體國憲ヲ
舉テ之ヲ破壞スルノ情勢アルヲ聞カカルナリ是レ地方自治

ノ制ニ君主主義ト併ビ行ハレ最モ其効用アルヲ見ルベキナリ
而ルモ議者ハ猶自治ヲ以テ共和ノ異名ト爲シ府縣自治ノ制
ハ尾大不掉ノ病患ヲ生シ國體ヲ破壊スルノ結果アラレトス
ト謂フ乎其ノ中央集權ニ二種アリ其一ハ一切ノ權カヲ中
央ニ集メ地方ノ公共事務ニ屬スル事項ニ至ルマデ之ヲ制
時ニテ措カズ其二ハ地方ノ公共事務ニ屬スル事項ノ如キ
ハカメテ地方人民ノ自ラ處理スルニ任シ而シテ國家必要ノ
政權ハ嚴然之ヲ中央ニ集メサシモ假借スル所ナキ是レヲ
中央集權也此二種アリ地方ノ權亦隨テ二種アリ其
一ハ地方ニ附與スルニ國政ノ境域内ニ屬スベキ權カヲ以テシ
逐ニ中央ニ政權ヲシテ萎靡セシム例ハ封建ノ制度ノ
如シ其二ハ毫モ政府ノ活動ヲ失ハズシテ法律ノ樊圍内
ト國ノ監督ノ下ニ於テ地方人民ヲ以テ自ニ其公共事務

ヲ處理スルコトヲ得セシムル是レナリ其第一ハ施政最
モ其宜キヲ得ザル者ニシテ第二ハ最モ其宜ヲ得タル
者ナリ府縣制草定ノ主旨ハ此第二者ヲ目的トスルニ
在リ議者之ヲ熟思シテ可ナリ

